

稲取漁港整備(2種)事業(改良)工事(消波工・嵩上工)に於ける根固工の工夫について

静岡県土木施工管理技士会
青木建設株式会社 工事部

和氣 秀人

1. 適用工種

平成21年度 稲取漁港 広域漁港整備(2種)事業
防波堤(改良)工事(消波工・嵩上工)に於いて、当初
設計内容が、防波堤部既設根固ブロック撤去、及び
捨石均し、及び新設根固ブロック製作・据付という
内訳であった。

2. 問題点

- ①工期が12月15日から3月15日と短期間であった。
また、関係官庁への許可申請等も必要であり、工期的
に非常に厳しい状況であった。
- ②前施工が約20年前の工事ということで、現状態に
不安要素があり、工法変更等生ずる恐れが予測された。

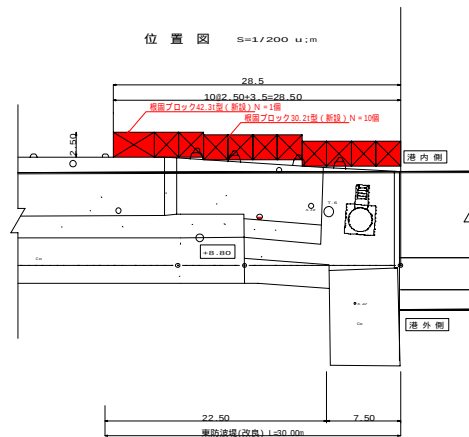


図-1
計画平面図

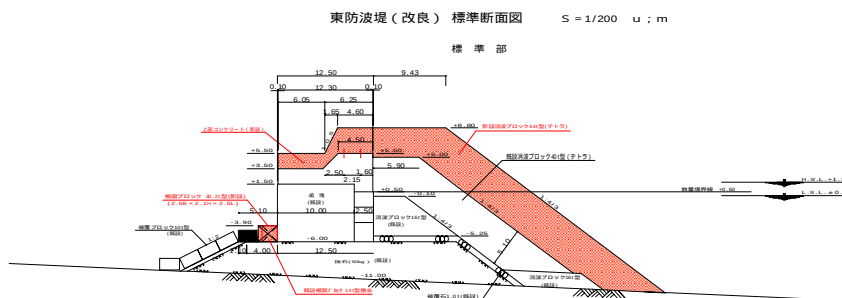


図-2
当初計画断面図

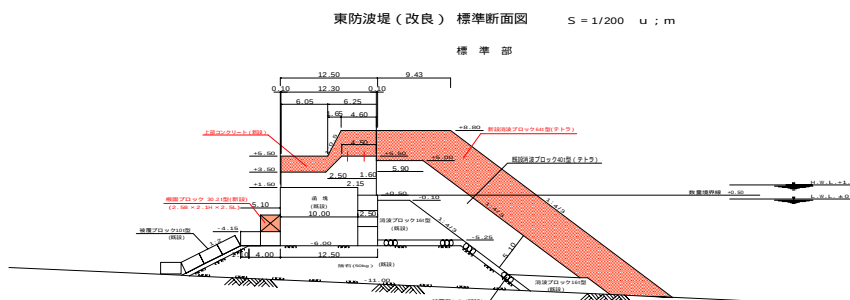


図-3
変更計画断面図

3.工夫点

- ①工事契約と同時にブロック製作占用ヤードの確保及び下請会社との契約を済ませ、年内ブロック製作開始工程を実施した。
- ②早期の潜水土による入念な事前測量調査により、既設ブロックの損傷は無く、現状据付精度も良好であった為、本施工の不必要性を設計図書照査時にVE提案しました。

4.効果

- ①年内に3回のコンクリート打設を行い、1月中旬にはブロック製作を完了し工期短縮に繋がりました。
- ②既設ブロックの撤去作業・ブロック下端の均し作業が提案通り削除され、それによりコンクリート塊の産業廃棄物処理等も無くなりVE提案が承諾され、また工期短縮にも繋がり工期内に工事を完了する事が出来ました。

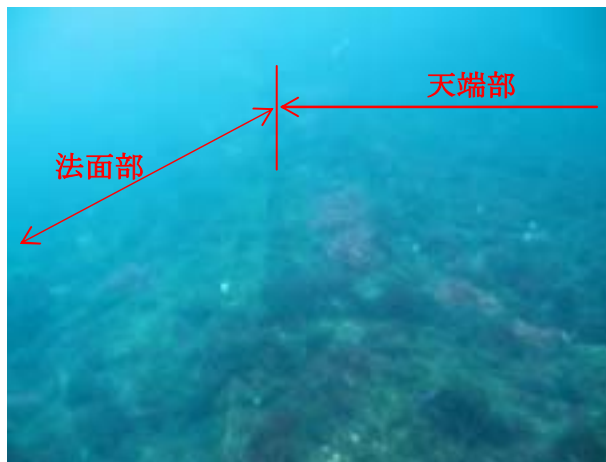


写真-1
着手前
既設根固ブロック状況



写真-2
完成
根固ブロック据付完了
側面部



写真-3
完成
根固ブロック据付完了
天端部 目地